

つながりの縁側

Engawa

— 今日、誰かと話せた。 —



VISION

年を重ねても、誰かと 縁側に座れる社会を。

70代・80代・90代の高齢シニアが、
『今日、誰かと話せた』『明日、会える人が
いる』という安心を持ち続けるための
人間関係の再構築プラットフォーム。



課題：喪失の連鎖

友人を失うたび、世界は少しずつ狭くなる

“「話す相手が、
いつのまにか
いなくなった」”

『同世代の死別』

『ネットワーク縮小』

『外出減少』

『関係資本の枯渇』

孤独の三層構造

既存サービスの多くは第一層止まり。
Engawaは第二・第三層へ。

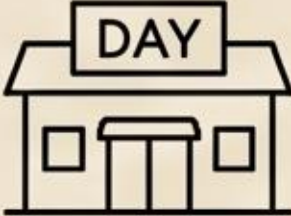



存在論的孤独：自分の人生を誰も知らないという感覚

感情的孤独：本音を話せる相手の不在

社会的孤独：交流機会の不足

既存解決策のギャップ

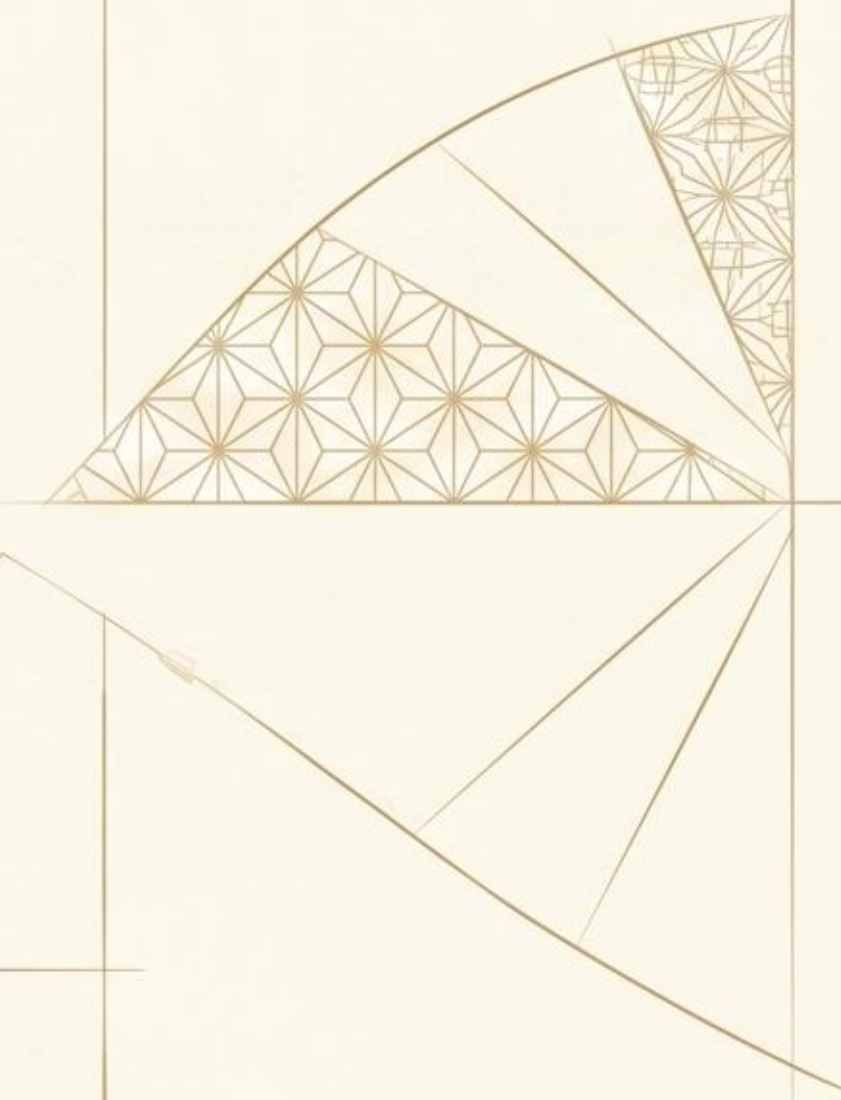
既存解決策の限界

	強み	限界
 デイサービス	介護スタッフによる身体介助や見守りがあり、利用者は安全・安心な環境で、健康的に日中を過ごせる。	利用者の健康状態や介護度が様々であり、深い話ができる同世代との交流は限定的で、孤独感は解消されにくい。
 ボランティア訪問	訪問ボランティアと、マンツーマンでの濃密な対話や感情の共有ができ、精神的な支えとなる。	ボランティアとの年齢差や立場の違いが心理的な距離となり、対等な友人関係を築くのは難しい。
 SNS / LINE	スマートフォンさえあれば、時間や場所を問わず、家族や友人と手軽に文字で連絡が取れる。	文字だけのやり取りは誤解を生みやすく、また、感情のすれ違いや、人間関係の複雑化に悩むことがある。
 マッチングアプリ	プロフィールや条件から、共通の趣味や地域を持つ同世代の相手を効率よく探せる。	見ず知らずの相手と会うことへの心理的な抵抗感や、アプリ操作の難しさから、多くのシニアが利用を躊躇する。

ギャップ：同世代と、無理なく、継続的に、深くつながれる仕組みがない。

縁側に、 座れる場所を。

縁側は、内と外、私と公、静と動が自然に
自然に交わる場所。押し付けがましくなく、
立ち寄りやすく、長居してもよい。



ENGAWA — Reconnecting generations of solitude.

三つの柱

サービスを支える三本の柱

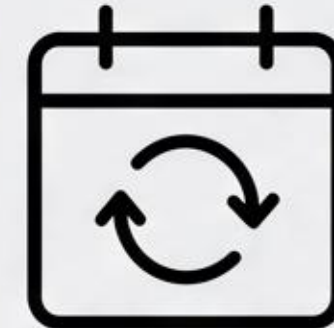
柱1『同世代の縁側』

年齢差**±5~10歳**の
マッチング。



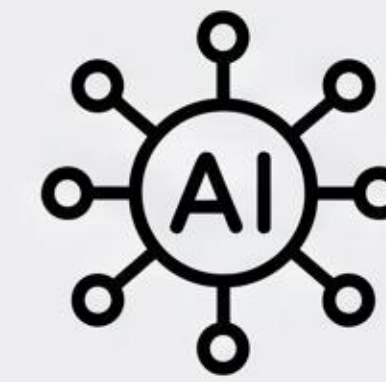
柱2『小さな習慣』

週1回15分の電話から始
める、**月2回**の少人数サロ
コン、思い出の棚。



柱3『安心の裏方』

AIは補助、対話の中心は
人間、家族・地域包括と
の**連携**。



ペルソナ：田中花子さん

田中 花子さん／82歳・女性・独身／
元教員

- ◎ 85歳まで生きた親友が3年前に他界した。
- ◎ 読書会も半数が亡くなり、参加を止めてしまった。
- ◎ 姪が週1で電話をしてくれるが、話題が尽きてしまう。

無理なく参加できる場があれば、少し元気になれる気がする。

ペルソナ：佐藤健一さん

佐藤 健一さん／76歳・男性・
妻と二人暮らし／元会社員



ゴルフ仲間5人のうち3人が他界。



妻は元気だが、話題が被らない。

ホビータグ



ゴルフ

Noto Sans JP



将棋

Noto Sans JP



戦争体験の継承

Noto Sans JP

“

『弱みを見せずに、
気軽に話せる
男友達がほしい。』

ノーチスターメトリック

量より、質と継続を測る。

WMC

Weekly Meaningful Connections

週次の、意味ある交流回数

定義：1ユーザーが週に1回以上、15分以上の
双方向交流（電話・対面・オンライン）を持った回数

TEKION Group

KPI：ローンチ後12ヶ月

最初の12ヶ月で目指す数字



500名

登録ユーザー



60%

週次アクティブ率



70%

3ヶ月継続率



NPS 50

NPS 50



家族満足度 4.0 / 5.0 以上

今日、誰かと話せた。

つながりの縁側 Engawa



— 孤独を、ひとりで抱えなくていい。 —